

医療法人 八誠会

もりそう教育だより

令和 4 年 4 月発行 (No.7)

発行／もりやま総合心療病院
看護部

TEL 052-791-2133



節目の 4 月ですね

令和 4 年度がやってきました。長く働いてくださった方が次の人生のステージに旅立ち、新たな仲間がやってくる時期で感慨深く思っています。昨年度は、ワクチン接種と感染対応に加えて、電子カルテの導入という大きなイベントがありました。1年前のお便りに「備え」が大事だと書きましたが、その備えのおかげで助かった部分と備えていても突発的に起きてくる不測の事態への対応の両方がある、すべての経験が人を育てるといいますか、経験を成長につなげることの大切さを学んだ1年だったと感じています。では、新たな年度を迎えるにあたり、昨年度のいろんな出来事をふりかえっておきたいと思います。

【ワクチン接種】

昨年度は、院内でも3回の新型コロナワクチン接種を行いました。職員や外来の患者様には集団接種会場で、入院患者様には接種チームが巡回して、1日50～60人ほどの接種を繰り返してきました。副反応もあるので、接種に消極的な人もいましたが、発症予防や重症化予防効果といったメリットもありますので、感染予防のために大切なことだと思います。接種後には15～30分の観察時間がありますが、その時間を静かに意味のある時間として過ごしていただくために、毎回、感染防止のための方法やワクチンの効果に関する情報提供の動画を作って流していました。皆さん真剣な面持ちで見てくださって、関心の高さを感じました。重篤な副反応が起きても対応できるようにベッドや救急カートも準備しておりましたが、幸い皆さん無事に接種を終えることができ、ほっとしています。今後も、感染対策をしっかり行っていきたいものです。

なぜ、追加（3回目）接種が必要ですか？

・ワクチンには、高い発症予防効果がありますが、感染予防効果や高齢者の重症化予防効果が時間経過に伴い徐々に低下するため、**感染拡大防止、重症化予防のために追加接種**を行うことになりました。

発症予防効果	・2回目接種後2か月まで96.2%、4か月以降も83.7%を維持
感染予防効果	・2回目接種後1か月以内88%、半年後47%に低下
重症化予防効果	・2回目接種半年後で60歳以上の重症例発症率に上昇傾向

【電子カルテ導入】

11月に導入された電子カルテ、基本的なところはなんとか皆さんに習得していただけたようで、あんなに殺到していた電話も少なくなって、通常運用できている今日この頃です。でも、4月には新しい職員の方々の入職がありますし、細かい部分では決まっていないこともちよつとずつあって、今年度は、入職者へのオリエンテーションのブラッシュアップやマニュアルの整備、紙カルテの整理など、残った課題にも着手していかなければいけないと思っています。

達筆すぎて読めなかった記録が読めるようになったり、離れた場所でも状態把握ができるようになったり、電子カルテの恩恵も感じられます。看護部では、今まで主任が看護記録の検討や質向上を担当していたのですが、委員会の再編を行い、看護記録委員会を立ち上げました。記録委員会を中心に、もっともっと電子カルテを使いこなせるようにしていきたいと思っています。



やっぱり研修って大事だ～



新型コロナの流行で、一昨年は研修をぐっと縮小しましたが、昨年度は感染対策に留意しながら、看護研究コースや看護過程コースを実施しました。研究も看護過程もより良い実践を目指して、数か月～半年かけてデータを収集したり、患者さんと話し合ったりして、今後に生かせるような知見や、学びを得ることができました。これでいいのかなと悩みながら日々を過ごしている看護師たちも、立ち止まってじっくりと考えて、考えたことを言葉にして、自分が行っていることの意味を再確認する機会になったようでした。これらの研修は、一人でやるのではなく、病棟でいろんな人の力を借りながらやるので、他のみんなも考える機会になったり、チームワークが高まったりする効果もあります。

看護過程コースは紙面発表になってしまいましたが、研修を終えた後の晴れやかな顔を見ていると、やっぱりこういう機会は大事ななあ、来年もやれるといいなあと思えます。そして、手ごたえを感じた看護師たちが、次の世代を育成して、サークル・オブ・ライフと言いますか、教育の輪、看護の輪がつながっていくのだなあと思えます。

【令和3年度の研究】

院外	日精看県支部発表会 10/22 (Web 開催)	● 加藤「対人緊張の強い患者への訪問看護～受診につながるまでの気持ちの変化を振り返って」 ● 西川「長期入院患者の服薬自己管理に対する意識」
院内	院内研究発表会 12/22	● 真鍋「統合失調症患者における口腔セルフケアの習慣化を試みて」 ● 加納「終末期患者の意思決定と看取りケアに関する看護師が抱えるジレンマ」 ● 浅岡「隔離室への危険物持ち込み防止に関する調査」

【Web 研修 Web 会議から思うこと】

電子カルテ導入も導入され、IT 化が進みつつある当院ですが、コロナ禍の影響もあって、院外の様々な活動も Web で実施されることが多くなってきました。院外研修、事例検討会、大学主催の就職説明会など、離れた場所にいる人と移動時間を考えずに話し合う機会を持てるのは大きな魅力だなと思います。当院の就職説明会も以前は実際にお越しいただき、院内見学、ティータイムなどで当院のことを知ってもらう機会にしていたのですが、なかなか開催できない状況が続いています。そろそろ頭を切り替えて、Web 開催も考えていかないとけないなあと思っています。

春は新たなスタート

春は、卒業・入学・就職・出会い・別れなど人生において分岐点となる大きなイベントが多くある季節ですね。皆さんはどんな春をお過ごしでしょうか？私は看護教育という部署に配属となり、電子カルテ導入という大きなプロジェクトに参加させていただき、あっという間に1年が過ぎたと感じています。当院に咲く桜を見上げながら昨年の今頃を思い出すと、新しい部署移動への不安やプレッシャー、新たな取り組みに対する期待や希望など複雑な心境を抱えていたなと思い出されます。振り返ると、自己の課題や目標、それを達成するための行動計画の必要性を考えさせられ、年間目標から5年・10年先を見据えた計画、実行が今後の課題であると感じています。今回の四文字熟語は「春風得意」です。同じ意味合いで、順風満帆や前途洋々などがありキャリア形成の計画が軌道に乗って思い通りことが運んでいることを意味しています。順風満帆などの言葉を「春風得意」に言い換えて伝えるとカッコいいなと思いますので、是非使ってみてくださいね。

看護教育主任 小川さなえ（精神科医学会認定看護師）